平成２６年度　認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告

平成２７年３月

　草津市（滋賀県）

**○計画期間：平成２５年１２月～平成３１年３月（５年４ヶ月）**

Ⅰ．中心市街地全体に係る評価

|  |
| --- |
| **１．平成26年度終了時点（平成27年3月31日時点）の中心市街地の概況**　草津市では、平成２５年１１月２９日に内閣総理大臣の認定を受け、「“元気”と“うるおい”のある生活交流都市の創造」を基本理念に掲げ、「歩いて楽しい回遊性の高いまち」、「個性的で魅力のある店舗が集積するまち」、「幅広い世代が交流するまち」を目標に、草津駅を中心とした三つのエリアと二つの軸の個性をいかし連携を図ることを戦略として、中心市街地の活性化に取り組んでいます。　平成２６年度は、中心市街地活性化基本計画のリーディング事業に位置づけている「アニマート跡地賑わい空間整備事業」の整備を進め、緑化広場を草津市が整備し、商業テナントミックスを草津まちづくり株式会社が手掛ける官民連携の取組みとして、草津駅前の低未利用地をniwa+（ニワタス）として整備しました。niwa+（ニワタス）では、緑化広場を活用したイベントである「ニワタスマルシェ」や入居テナントがイベントを実施するなど、草津駅東口前における新たな人の流れ、賑わいの創出に寄与しています。　また、中心市街地活性化エリア内で空き店舗率の高い本陣・本町エリアにおいて、経済産業省の補助金を活用して整備を進める「東海道・草津宿テナントミックス事業」については、出店候補者が決定し、平成２７年秋頃のオープンを目指し事業を進めており、まちの衰退感を創出する空き店舗が活用されることにより、まちの賑わいを創出する取り組みが進められています。　一方で、基本計画の核事業に位置づけております「草津川跡地賑わい空間整備事業」、「（仮称）野村スポーツゾーン整備事業」、「（仮称）市民総合交流センター整備事業」については、完成年度が平成２９年度以降となるため、今後核事業を中心市街地の活性化に寄与する事業として整備することが求められています。**２．平成26年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見**　平成２６年度は、４月に中心市街地活性化協議会総会を開催し、７月、９月、１２月、３月の４回、中心市街地活性化協議会全体会を開催し、基本計画の内容の変更についての協議、各種プロジェクト会議の取り組み状況等の報告を行いました。　中心市街地活性化協議会の取り組みとしましては、草津駅の東西が連携したイルミネーションイベントである「草津まちイルミ」を実施したり、地域の皆様に愛着を持っていただくことを目的に「草津まち歩き新聞」を発行するなど、中心市街地の活性化事業を展開しました。　今後についても、各種プロジェクトにおいて、中心市街地活性化に関する事業に対して協議を進め、各種事業がまちの賑わいを創出するものとなるよう総合的な調整を図っていきます。 |

Ⅱ．目標毎のフォローアップ結果

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **１．目標達成の見通し**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 目標 | 目標指標 | 基準値 | 目標値 | 最新値 | 今回の見通し |
| 歩いて楽しい回遊性の高いまち | 歩行者通行量（平日） | 11,067人/日（H24） | 11,709人/日（H30） | 11,337人/日（H26） | ③ |
| 個性的で魅力のある店舗が集積するまち | 空き店舗率 | 10.4％（H24） | 9.5％（H30） | 9.1％（H26） | ③ |
| 【参考】魅力ある新たな店舗の増加数 | 0店舗 | 18店舗 | 5店舗 | - |
| 幅広い世代が交流するまち | 福祉・文化・交流施設の利用者数（平日・休日） | 448,760人/年（H23） | 538,512人/年（H30） | 465,817人/年（H25） | ③ |

＜取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類＞①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。**２．目標達成見通しの理由**（１）「歩行者通行量（平日）」について　　目標の積算事業で完了しているのが、「アニマート跡地賑わい空間整備事業」のみであるが、歩行者通行量は増加傾向にあり、今後整備を進める核事業により、目標達成は可能であると見込まれます。（２）「空き店舗率」について　　空き店舗解消に向けた取り組みが進んでいないが、目標値を上回る数値で推移しており、今後、進める「東海道・草津宿テナントミックス事業」、「魅力店舗誘致事業」により、より一層空き店舗が解消されることで、目標達成が可能であると見込まれます。また、参考指標に設定している「魅力ある新たな店舗の増加数」については、「アニマート賑わい空間整備事業」により、草津まちづくり株式会社が誘致したテナント５店舗がテナントとして入居し増加したものの、空き店舗対策等による店舗誘致が進んでいないため、今後、更なる取り組みの推進が求められる。（３）「福祉・文化・交流施設の利用者数（平日・休日）」について　　核事業に位置づけている「（仮称）市民総合交流センター整備事業」及び「（仮称）野村スポーツゾーン整備事業」の供用開始にいたっていないため、今後、賑わい創出機能を付加させたかたちで、当該事業の整備を進めることにより、目標達成は可能であると見込まれます。 |
| **４．目標指標毎のフォローアップ結果**「歩行者通行量（平日）」※目標設定の考え方基本計画P123～P130参照

|  |  |
| --- | --- |
| 年 | （人／日） |
| H24 | 11,067（基準年値） |
| H25 | 10,776 |
| H26 | 11,337 |
| H27 |  |
| H28 |  |
| H29 |  |
| H30 | 11,709（目標値） |

**●調査結果の推移**目標値基準年値基本計画認定前の値基本計画認定後の値※調査方法：歩行者通行量（平日）調査※調 査 月：毎年８月の平日※調査主体：草津市※調査対象：歩行通行者（平日）、６地点**●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果**①．アニマート跡地賑わい空間整備事業（草津市、草津まちづくり株式会社）

|  |  |
| --- | --- |
| 事業完了時期 | 平成２６年度【済】 |
| 事業概要 | ＪＲ草津駅前の低未利用地を魅力的な空間として整備・活用するものであり、ガーデニングを施した緑化広場と民間による商業テナントミックスを複合的に整備する。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 平成２６年７月完成。年間入込客数（人／年）11.7万人。長年低未利用地としてしか利用されていなかったが、緑化広場と商業テナントミック事業による整備を行ったため、駅前での新たな賑わいを創出している。 |

②．草津川跡地賑わい空間整備事業（草津市、草津まちづくり株式会社）

|  |  |
| --- | --- |
| 事業完了時期 | 平成２７年度【実施中】 |
| 事業概要 | 草津川跡地を、「ガーデンミュージアム」をコンセプトとして、質の高い緑によるうるおい空間、商業テナントミックスによるにぎわい空間、市民活動の場となるよう整備する。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 平成２９年春に供用開始予定。年間入込客数（人／年）30万人。 |

③．（仮称）市民総合交流センター整備事業（草津市・公共公益事業者）

|  |  |
| --- | --- |
| 事業完了時期 | 平成２９年度【実施中】 |
| 事業概要 | 大規模低未利用地を活用し、老朽化が著しい近隣の公共施設を集積させ、「子育て支援機能」、「多世代交流機能」、「商業・業務機能」、「複合的コミュニティ形成機能」を持った複合施設を整備する。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 平成３０年当初に供用開始予定。年間利用者数（人／年）4万人。 |

④．（仮称）野村スポーツゾーン整備事業（草津市）

|  |  |
| --- | --- |
| 事業完了時期 | 平成２９年度【実施中】 |
| 事業概要 | プロスポーツの試合や各種イベントの開催など、多用途に利用できる体育施設を整備するとともに、子どもから大人まで誰もが気軽に利用し、交流を育むことができる公園として整備する。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 平成３０年当初に供用開始予定。年間利用者数（人／年）5.4万人増。 |

**●目標達成の見通し及び今後の対策** （１）目標達成の見通し　事業の進捗としては、「アニマート跡地賑わい空間整備事業」のみの完成ではあるが、歩行者通行量は増加傾向にあり、今後の核事業、ソフト事業の取り組みにより目標達成は可能と見込まれる。（２）今後の対策駅前を中心としたマンション建設等により人口が増加傾向であり、今後実施する核事業により、増加している駅前居住者はもとより、周辺部や近隣市からの来訪者を獲得するとともに、まちなかを回遊いただく取り組みを推進する予定です。「空き店舗率」※目標設定の考え方基本計画P130～P131参照

|  |  |
| --- | --- |
| 年 | （％） |
| H24 | 10.4（基準年値） |
| H25 | 9.8 |
| H26 | 9.1 |
| H27 |  |
| H28 |  |
| H29 |  |
| H30 | 9.5（目標値） |

**●調査結果の推移**基本計画認定前の値目標値基準年値基本計画認定後の値※調査方法：現場確認による空き店舗調査※調 査 月：毎年１０月※調査主体：草津市※調査対象：中心市街地における空き店舗**●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果**①．アニマート跡地賑わい空間整備事業（草津市、草津まちづくり株式会社）

|  |  |
| --- | --- |
| 事業完了時期 | 平成２６年度【済】 |
| 事業概要 | ＪＲ草津駅前の低未利用地を魅力的な空間として整備・活用するものであり、ガーデニングを施した緑化広場と民間による商業テナントミックスを複合的に整備する。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 平成２６年７月完成。カフェ等飲食店を６店舗誘致する予定であったが、テナントリーシングの過程で５店舗となった。 |

②．草津川跡地賑わい空間整備事業（草津市、草津まちづくり株式会社）

|  |  |
| --- | --- |
| 事業完了時期 | 平成２７年度【実施中】 |
| 事業概要 | 草津川跡地を、「ガーデンミュージアム」をコンセプトとして、質の高い緑によるうるおい空間、商業テナントミックスによるにぎわい空間、市民活動の場となるよう整備する。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 平成２９年春に供用開始予定。カフェ等飲食店を３店舗、物販店を３店舗誘致する予定。 |

③．【追加】東海道・草津宿テナントミックス事業（草津まちづくり株式会社）

|  |  |
| --- | --- |
| 事業完了時期 | 平成２７年【実施中】 |
| 事業概要 | 物販店と飲食店を空き家を活用したテナントミックスにより、戦略的に誘致、整備することにより魅力ある店舗の集積を図る。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 平成２７年秋完成予定。平成２７年６月から工事に入り、秋のオープンを目指す。基本計画において商店街テナントミックス事業により、４店舗整備ることとしているが、そのうち２店舗が整備されることとなる。 |

④．魅力店舗誘致事業事業（草津市、草津市中心市街地活性化協議会）

|  |  |
| --- | --- |
| 事業完了時期 | 随時【実施中】 |
| 事業概要 | 商店街の空き店舗の情報を把握し、個々の商店街の持つ立地や歴史性、顧客ニーズや利用者層等から必要な商業機能等を分析し、地域に必要な機能を戦略的に誘致し整備する。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 平成２６年度の実施件数は０件だが、活用の意向を示している出店希望者がでてきているため、目的に合えば誘致し整備を行う。 |

**●目標達成の見通し及び今後の対策** （１）目標達成の見通し　目標値（平成３０年度）を９．５％としているが、平成２６年度が９．１％と目標を達成している。今後も継続した取り組みにより目標達成を可能と見込まれる。　（２）今後の対策　「東海道・草津宿テナントミックス事業」や「魅力店舗誘致事業」により、空き店舗対策を進めるとともに、「草津川跡地賑わい空間整備事業」等により新規店舗の整備を行うなかで、新たな賑わいにより波及効果が創出され、民間投資を喚起する取り組みを進めます。「福祉・文化・交流施設の利用者数」※目標設定の考え方基本計画P131～P134参照

|  |  |
| --- | --- |
| 年 | （単位） |
| H23 | 448,760（基準年値） |
| H24 | 483,208 |
| H25 | 465,817 |
| H26 |  |
| H27 |  |
| H28 |  |
| H29 |  |
| H30 | 538,512（目標値） |

**●調査結果の推移**基本計画認定前の値目標値基準年値基本計画認定後の値※調査方法：各施設（１１施設）の年間利用者数の集計※調 査 月：毎年６月※調査主体：草津市※調査対象：中心市街地に位置する福祉・文化・交流施設（１１施設）利用者**●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果**①．（仮称）市民総合交流センター整備事業（草津市）

|  |  |
| --- | --- |
| 事業完了時期 | 平成２９年度【実施中】 |
| 事業概要 | 大規模低未利用地を活用し、老朽化が著しい近隣の公共施設を集積させ、「子育て支援機能」、「多世代交流機能」、「商業・業務機能」、「複合的コミュニティ形成機能」を持った複合施設を整備する。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 平成３０年当初に供用開始予定。年間利用者数（人／年）4万人増。 |

②．（仮称）野村スポーツゾーン整備事業（草津市）

|  |  |
| --- | --- |
| 事業完了時期 | 平成２９年度【実施中】 |
| 事業概要 | プロスポーツの試合や各種イベントの開催など、多用途に利用できる体育施設を整備するとともに、子どもから大人まで誰もが気軽に利用し、交流を育むことができる公園として整備する。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 平成３０年当初に供用開始予定。年間利用者数（人／年）5.4万人増。 |

③．草津宿本陣歴史館整備事業

|  |  |
| --- | --- |
| 事業完了時期 | 平成２６年度【済】 |
| 事業概要 | 中心市街地の歴史的資源である国史跡草津宿本陣をより親しみやすいものとし、文化財としての価値向上を図るため、街道文化の再現や本陣の歴史の紹介、情報発信等を行う施設を整備する。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 年間利用者数（人／年）1.6万人増。 |

**●目標達成の見通し及び今後の対策** （１）目標達成の見通し　平成２５年度数値は対前年比で減少傾向にあるが、これは目標の積算施設である中心市街地に位置する福祉・文化・交流施設（１１施設）のうち２施設において、耐震工事により閉館していたことが主要因であり、仮に当該２施設が通年の開館をしていた場合は、増加傾向となるため、核事業の整備により、目標達成は可能と見込まれる。（２）今後の対策　核事業に位置づけている「（仮称）市民総合交流センター整備事業」及び「（仮称）野村スポーツゾーン整備事業」の整備の推進、また、各拠点間の連携した取り組みにより、まちへの滞留時間を増加させる取り組みを進めます。 |